

具体項目	豊かな心と健やかな体	担当				
重点目標	○主体的に学級・学校づくりに参画する力 ○多様性を認め、あたたかな関係を築く力 ○心と体の健康を意識して生活する力	総合評価	A			
指 標	数 値 目 標	達成状況				評価
	「学校が楽しい（意識調査ア）」と答える児童が90%以上	A	B	C	D	A
		81%	17%	0%	2%	
		肯定的回答率 98%				
	「みんなで何かをするのは楽しい（意識調査イ）」と答える児童が90%以上	A	B	C	D	A
		87%	11%	0%	2%	
		肯定的回答率 98%				
	「めあてをもって生活することができた」と答える児童が90%以上	A	B	C	D	A
		79%	21%	0%	0%	
		肯定的回答率 100%				
具 体 的 な 取 組 【教職員】		達成状況				評価
①児童主体で計画・実践・振り返りを繰り返し、自治力を高める。（係・委員会活動、縦割り班活動、行事）		A	B	C	D	A
		38%	62%	0%	0%	
		肯定的回答率 100%				
②道徳、行事、縦割り班活動等と関連を図ったポジティブ（レジリエンス）教育を行い、逆境に負けない心を育む。		A	B	C	D	A
		38%	62%	0%	0%	
		肯定的回答率 100%				
③業間運動・体育・生活習慣において、意欲的に活動ができるように、めあてを決め、振り返りを行う。		A	B	C	D	A
		50%	50%	0%	0%	
		肯定的回答率 100%				
総 括 と 改 善 策						
<成果> ・全校校外学習の振り返りでは、縦割り班でタブレットを使ってパンフレット作りを行い、発表会を行った。高学年が低学年のサポートをしながら、一緒に学びを深めることができた。 ・体育大会やふるさと発表会などの行事前に、実行委員を募り、子ども達が主体となって行事の企画・運営を行う環境を整えることで、児童が活躍する場面が多く見られた。 ・生活習慣において、元気アップカードの項目や振り返りを工夫し、自分たちに合っためあてをもって取り組むことができた。 ・自己肯定感を高め、日々の充実感を得られるように、定期的にピアサポートやレジリエンスなど、ポジティブ教育を行った。 <課題> ・行事の企画・運営をするための時間を十分に確保することが難しく、担当する教員や児童への負担が大きかった。 <次年度に向けた改善策> ・学校再編に向けての交流を念頭に入れ、行事の精選を行う。また、交流の際には、ポジティブ教育を実施する機会を設け、児童が安心して織田小学校との活動に取り組めるようにしていきたい。						